



松坂よしのり

— 政策提案、地元要望解決力NO.1 —

発行 千葉市議会議員 松坂 吉則 政務活動事務所

〒266-0011 千葉市緑区鎌取町230

TEL:043(291)2626 FAX:043(292)2882

Mail:matsuzaka1127@gmail.com

議会報告

令和6年1月号

ごあいさつ

新春の候、日頃より、私の議員活動にご理解賜り厚く御礼申し上げます。令和5年第4回定例会で一般質問をさせていただきました。皆様からお寄せいただきました要望や公約の実現に向け全力で取り組んでまいります。ぜひご一読いただければ幸いです。

千葉市議会議員 松坂 吉則

1 ふるさと納税について

都市部では、ふるさと納税の市民税控除による収減が大きく、多額の財源が流出している。千葉市も44億7千万円ほどが流出。私の考える千葉市の魅力は、「キーワード食」、そして良質な農産物や食品が豊富にあることだと思う。これらを返礼品として活用することで、ふるさと納税の収入を増やす取り組みができると考える。サイト事業者と協力しマーケティングをしっかり行い戦略的な対応が必要と考える。

質問 ・千葉市へのふるさと納税を増やすための取り組みについて。
・返礼品の質を高めるための工夫について。



回答 本市には多様で良質な農畜産物や加工品が存在しており、「千葉市らしさ」をアピールする「千」ブランドを中心に、トマトやハム、ソーセージといった農産物などの返礼品の充実を図っていく。ニーズに応えられるような返礼品の更なる充実に努めていく。

前進しました。マーケティングを行い、返礼品充実を図り納税収入を増やすことになった。

2 市税徴収について

市税は市歳入の根幹であり、ほとんどの納税者はその義務を履行している。市税の滞納を続けるような人を逃がす事は、まじめに働いて税金を納めている市民の方からすれば決して許されないことです。市税の滞納者に対しては積極的な滞納整理を進める必要があり、不公平な状態にしてはならない。市税滞納者は本市でも高止まりであり今後、一層の体制づくりが必要ではないか。

質問 ・不納欠損の額の推移はどうなっているのか、またその要因はなにか。
・滞納整理にどのように取り組んでいるのか、またどのような工夫しているか。



回答 不納欠損は令和4年度約2億5,480万円(回収できなくなった金額)。滞納者には、差押の予告を記載してある督促状を送付している。再三の催告にも関わらず滞納している者には、財産調査をし、財差押処分や捜索を執行し租税債権の確保に努めている。納税の公平・公正性を確保しながら滞納額の縮減、徴収率の向上に努めしていく。

前進しました。回収できなくなる前に悪質な滞納者に対し指導していくことになった。

京葉線快速縮小の極端な改正に対し市長と共に要望活動。

JR東日本が今年3月のダイヤ改正で通勤快速を廃止し、快速を朝夕夜間帯は各駅停車に変更すると発表しました。利用者の利便性が著しく悪化する突然の改正であり容認できるものではありません。

早速、自民党市議団として神谷市長に「利便性を確保するようJR東日本や国土交通省と一緒に働きかけること」について要望書を提出しました。また、都市建設委員会が所管委員会である為、引き続き、所管委員長として動向を調査し対応したいと考えています。

今後は神谷市長と歩調を合わせ、JR東日本や国土交通省に要望活動をして参ります。また、

市役所とは情報交換をしながら市民の皆様への影響を考え対応することとしています。電車、バスなど公共交通に急激な改正、廃止を危惧しており行政、市民の皆様とともにこの課題を考えています。



3 動物愛護施策について

動物愛護の考え方を市民の間に広め、1頭でも多くの動物の譲渡が促進されることが重要。結果、殺処分が無くなることが望ましいと考えている。譲渡を希望している方からは、役所のホームページで動物の情報が見つけづらいと声がある。譲渡の促進には画像だけでなく動画(Youtube)の活用が効果的だと考える。

- 質問** • 動物保護指導センターに収容した犬猫の譲渡の取組みとあり方について。
• センターホームページの動画配信の改善について。

回答 犬はボランティアの協力を得ながら譲渡している。猫は「お見合い」方式に変更。結果、譲渡が4割から9割程度へ向上している。利用者に使いやすいホームページとなるよう改善していく。

前進しました。譲渡の促進をさらに進める。ホームページも動画を活用し改善していく。

詳しくはホームページをご覧ください。
市政に対するご意見をぜひお聞かせください!



4 通院や買い物が困難な市民への対応について

少子高齢化の進展に伴い買い物や通院など、日常生活における「移動」が社会的な課題となっている。一部の地域ではバス路線の廃止・減便が行われている。今議会では多くの議員がバス便の減便について質問している。しかしながら、行政に財政支援を求めるだけではこの問題の解決にはつながりません。永続的にこの問題を解決するためには、そこで暮らす市民、事業者、福祉施設、病院など、あらゆる分野での協力が不可欠です。財政的な支援には市民の税金で、その原資が税金であることを理解していただくことが重要です。

本市では、公共交通不便地域等への対応を進めていますが、2020年代前半に人口減少局面を迎えることが予想される中、公共のみでこの課題を解決することは限界がある。地域住民や民間事業者等との連携をさらに進め、「地域社会全体の課題」として、解決に取り組むことが重要である。これらに対応するためには市役所に全庁横断的なプロジェクトチーム発足の必要性がある。

- 質問** • 民間事業者等と連携した取り組みに対する市の考え方及び全庁横断的な取り組みの推進について。
• 民間事業者等と連携した取り組みの状況及び市の財政的支援に対する考え方について。

回答 行政だけでなく、周辺地域でサービスを提供している事業者、支援機関や地域住民などの連携が必要。区役所、あんしんケアセンター、社会福祉協議会区事務所などが中心となり、統可能性も考慮し関係部局や民間事業者等と連携・協働し支援を行っている。



地域に対する支援策として、移動販売の導入に向けた民間事業者等との調整を進めている。社会福祉法人が保有する送迎車両を活用して買い物バスを運行しており、現在9施設が実施している。市内のデイサービス事業所に対し、買い物バスの実施可能性や運行にあたり今後、ヒアリングなどを通じて課題を抽出し支援について検討していく。介護保険や地域ボランティアなどによる支援や民間事業者の活用に向けた取り組みを進めて参ります。

前進しました。私の一般質問以降この課題に対し全般的な議論が進み、民間の活用や地域の連携を検討するようになったことが答弁で確認できた。総割り行政の課題解決に向け努力していただけたようになった。

5 エネルギー価格高騰対策について

電気料金やガス料金が高騰し市民生活に大きな影響を与えている。太陽光発電設備の導入は、現在の電気料金が高騰している状況においては、発電した電力を自ら使うことにより、電力の購入量が減少するメリットが大きくエネルギー価格高騰対策とも位置付けできる。新築住宅には多くの補助がありますが、既存住宅への普及を促していくことが市域の脱炭素化が進んでいくものと考える。

- 質問** • 既存住宅へのさらなる太陽光発電の導入促進が必要ではないか。
• 太陽光発電の導入によって電気代高騰の影響を緩和できるので市民に導入意欲を高めるようなPRを行ってはどうか。
• 脱炭素先行地域の周知啓発に努めていくべきではないか。

回答 既存住宅は新築住宅に比べ、太陽光発電設備の設置が進んでいないことから、再生可能エネルギーの導入促進に効果的であると考える。環境面だけでなくエネルギー価格高騰対策にもつながる。



電気代高騰対策という経済的なメリットも周知することにより、導入を推進していく。脱炭素先行地域事業について継続的な周知や啓発活動を実施し、地域脱炭素の推進を目指す。

前進しました。既存住宅に対する補助金拡充や脱炭素地域促進を進めることになった。

都市建設委員長としてリーダーシップを發揮!!

都市建設委員会で空き家対策を進め市政に要望していきます。本委員会は本年度、空き家対策を年間テーマとし様々な施策を提案していきます。現在、委員間で協議中ですが提言という形で市執行部に提出します。

- 実態調査の実施について(市単独の詳細調査)
- 市役所に空き家対策を専門に進める部署の創設(人員の確保)
- 自治会、市民との連携(問題意識の共有と空き家情報の共有)
- 空き家に対する知識、法律、条例の広報・PR
- 民間機関との協働・活用(建築士、司法書士、行政書士、宅建協会、NPO)
- 行政手続きの標準処理期間の設定(期間を区切り空き家対策の手続きを行う)

以上の内容を柱に調整中ですが、他にもお気づきのことがありましたらご意見お寄せください。

都市建設委員会で公園のリフレッシュ推進事業が可決されました。対象は以下の公園で老朽化した遊具が新しくなります。

○大野台中央公園 緑区大野台 複合遊具1基

○あすみが丘ふれあいの広場公園 緑区あすみが丘 複合遊具1基

○大百池公園 緑区おゆみ野中央 複合遊具1基

千葉市に対するご意見お聞かせください。



Mail:matsuzaka1127@gmail.com